



上石小だより

～ やさしさ かしこさ たくましさ ～

第 9 号
平成 27 年 1 月 8 日
練馬区立上石神井小学校
校長 高橋 忠太郎

褒め方のヒント

校長 高橋 忠太郎

明けましておめでとうございます。

昨年は、60周年記念行事をはじめとして、地域・保護者の皆様には、多大なるご支援をいただき誠にありがとうございました。新しい年を迎え、子どもも、新たな決意で教育活動に取り組んでいこうと決意をしております。本年も、ご理解・ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

先日、「褒め方のヒント」という文章を読む機会がありました。「褒めることの大切さは分かっているが、実際はなかなか実践できない。」という声を聞くことがあります。私もその一人です。その記事には、「部分を褒める」という方法が紹介されていました。

例えば、子どもの日記を見た時に、文字の乱雑さが目について、つい「もっときれいに書きなさい」と注意してしまふことがあります。そのような時は、叱るのではなく、褒められる部分を「見つけ出す」という意識で「探す」のだそうです。まずは、偶然でもよく書けている字や比較的まじな字を見つけ出し、ひどい字には目をつむり、ピンポイントで褒めてあげます。表現のつたないところがあっても、正直に気持ちが書けている部分や、面白い表現のところを見つけて褒めるのだそうです。これを続けていくと、次第に字がきれいになり、表現もよくなっていくと書かれてありました。どうしても直したいところがある場合は、たくさん褒めてから最後に「ここだけ直そう」と言えば、子どもの意欲をそぐことはなくなります。

また、子どもの絵を見て「下手だな」と思うことがあるかもしれませんが、でも、部分に注目すれば、「この色がきれい」とか「顔が大きく描かれていて迫力がある」などと褒めることができます。算数でも、答えは間違っている、式は書いている場合があるかもしれませんが、計算が途中まで合っていることもあります。ともかく、褒められる部分を見つけて褒めてあげることです。

性格や行動の面についてもヒントが書かれていました。「至らない部分をあら探ししてとがめる」ことは、もしかすると、私たちが最も陥りやすいことなのではないでしょうか。そういう至らないところには目をつむって、まずは、褒められるところを探すことが大切である、とありました。

私たちは、子どもたちの成長を願う余り、つつい性急になりがちです。「字をきれいに書きなさい」「ここは違うでしょう。もっと正確にやりなさい。」「そんなことをしてはだめでしょ」と叱ることや答めることを真っ先にしがちです。でも、冷静に考えてみれば、そのような言葉をいくら言っても、子どもは何をどうしていいのかが分からないし、子どものやる気を引き出すこともできません。子どもを褒め、子どもの成長を辛抱強く待ちながら、スモールステップで進めていきたいと思ひます。

年度当初、職員会議で「教師が児童を認め、励まし、褒める指導を徹底する」という目標を示しました。子どもたち一人一人を大切に、子どもたちが自信をもって自分の力を発揮できるようにしてもらいたいという思ひから掲げたものです。学校でも、再度「褒める指導」に光をあてていきたいと考えています。

1月行事予定

- | | |
|-------------------------|------------------------------|
| 8(木) 給食始 5時間授業+委員会 | 27(火) 道徳授業(5校時)5時間授業(1,2,3年) |
| 10(土) 月曜時間割 4時間 | 地区公開講座・保護者会(1,2,3年) |
| 13(火) 発育測定(5,6年) | 28(水) 社会科見学(5年) 学校保健委員会 |
| 14(水) 発育測定(3,4年) | 29(木) 道徳授業(5校時)5時間授業(4,5,6年) |
| 15(木) 発育測定(1,2年)避難訓練 | 地区公開講座・保護者会(4,5,6年) |
| 16(金) たてわり給食・遊び | 30(金) 校内書き初め展終 |
| 17(土) 区・連合図工展(~1月22日) | |
| 19(月) 校内書きぞめ展始(~1月30日) | |
| クラブ活動 | |
| 21(水) 研究授業のため5年3組以外午前授業 | 2(月) 委員会活動 |
| 22(木) セーフティ教室(1年) | 3(火) 長い昼休み |
| 24(土) 区・連合書き初め展(~1月25日) | 4(水) 5時間授業 |
| 26(月) クラブ活動 | 5(木) リトルティーチャー(5校時 中1) |
| | 6(金) 避難訓練 |



学芸会

「心一つに、げきのよさを伝えよう」を目指し学年が一つになって練習をしてきました。舞台の上では『わたしが主役』となり、役になりきって大きな声でせりふを述べ、歌って、踊って、満足！！する演技ができた大喜びの4年生でした。

実行委員を中心にフィナーレの振り付けを考えたり、大道具・小道具を作ったりしました。保護者の方に用意していただいた衣装を身に付け、小道具を持つと気持ちも盛り上がります。そして、みんなで劇を作り上げていく楽しさや喜びを味わっていました。練習を重ねるごとに高まっていく子供たち。その素晴らしさを目の当たりにすることができたことは、担任として大きな喜びでした。

◀「ほんとうの宝ものは？」の劇を終えて幸せいっぱいの子供たちの声▶

- ・いざ本番となると、心配や不安が一気におしよせてきて、きんちょうしてきます。でも、みんなが「がんばれ」と勇気づける言葉をかけてくれたので、わたしはがんばることができました。
- ・みんなが力を合わせると成功してすごいげきになると思いました。
- ・いろんな人がいるなところで笑ってくれてうれしかったです。
- ・自分で選んだ役なので精一杯演じました。みんなの団結が深まり、よい経験になりました。
- ・学芸会で心に残ったことは、「練習は大事」ということです。練習を通してはずかしい気持ちが消え、工夫してせりふをいうことができました。

◀他の学年へメッセージ（感動したこと・学んだこと）▶

* 1年生へ*

- ・やさしいそのやさいたちがおどるところがかわいかったです。
- ・さいごにもぐらさんと野菜達やかえるさんが仲間おりによかったです。
- ・初めてのげきで、歌も大きい声で動作も上手でした。

* 2年生へ*

- ・じぞう役がじいとしてるのがむずかしそうでした。
- ・おしょうさまが、キツネだということを証明するときに、まんまとだまされたところがおもしろかったです。
- ・最初の出番で緊張したと思うけど、大きな声でセリフを言っていて、すごかったです。

* 3年生へ*

- ・ウンパッパの「楽しんでほしい！」という気持ちが伝わってきました。
- ・やっばり、遊びは一人ですよりも、みんなでする方が楽しいなと思いました。
- ・笑えるところを作って工夫しておもしろかったです。
- ・歌声が大きくて三年生の団結力が見られました。

* 5年生へ*

- ・どの人も大きな声で台詞を言っていてすごいなと思いました。
- ・ぼくは、5年生の「走れメロス」に一番感動しました。なぜなら、ぼくは本当の友情というものを知ったからです。友情って大切だなと思いました。
- ・信じれば、いつかはつらいことも乗り越えていけるということが分かりました。

* 6年生へ*

- ・人を許すこと、みんなのために一生懸命がんばるエルコスがすごいと思いました。
- ・バッテンバツバツのところがおもしろかったし、最後にエルコスが空気の精になってしまったのが悲しかったです。
- ・劇を見て、6年生みたいな劇がやってみたくまりました。

道徳授業地区公開講座

1月27日（火）29日（木）の授業参観は、道徳授業地区公開講座となります。これは、地域・保護者の皆様に授業や意見交換を通して道徳教育の大切さを知っていただき、子供たちが心豊かに成長するために連携していこうとする意識を共有する大切な機会です。

今年度は60周年記念の年です。そこで、「郷土を思う気持ち」「学校を大事に思う気持ち」「人を尊敬したり、感謝したりする気持ち」に焦点を置きました。普段、何気なく側にあり、当たり前存在である地域・学校・身近な人に目を向けて、自分はそれらに対してどんな思いをもって生きていきたいのか改めて考える時間にしたいと思います。

道徳の授業は「よりよく生きる」ために、自分の生き方について振り返る時間です。「よりよく生きる」ために、自分の生き方を振り返るのは、子供にとっても大人にとっても、大切なことです。授業公開の機会に、少しでも時間をとって、「生き方」についてお子様と一緒に考える時間がもてたらと思います。

1月の生活目標

礼儀正しくしよう

年末年始は、普段よりも年長の方とお目にかかる機会が多く、礼儀正しくしたり敬語を使って話したりできたことと思います。礼儀正しいあいさつや言葉遣い・態度は、相手を尊重する気持ちの表れであり、相手にも周囲の人々にも清々しさを感じさせるものです。さらに、自分自身にも心地よい緊張をもたらします。

今月は、家族や友達や先生に対する時の返事や受け答え・話の聞き方など、この一年を気持ちよく過ごせるように、いつもより少し心を配って礼儀正しく接して過ごしてみましょう。きっと、お互いがさわやかないい気分になり、よい人間関係が築けることでしょう。